

司法試験予備試験における短答式試験の採点及び合否判定方法について

平成22年11月17日司法試験予備試験考査委員会議申合せ事項

1 選択問題の採点について

一般教養科目において、指定された題数を超えて解答した場合、問題番号の小さい方から指定題数に満つるまでの解答を有効な解答とみなして採点し、それを超えたものについては採点しない。

2 合否判定方法

短答式試験の各科目の合計点をもって判定を行う。

ただし、短答式試験において受験をしていない科目が1科目でもある場合は、それだけで不合格とする。